

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



# La Forêt, C'est la Vie !



「街角の茶会」@ワガドゥグ

仕事終わりにいつもの友達と。人と人のつながり確かめ合うように毎夕茶会が開かれます。

2013年の1月、約1年半ぶりにブルキナファソを訪れました。それまで毎年半年ほどを過ごしていましたが、2011年に起こった動乱のためしばらく入国できませんでした。この動乱のため、一時期経済が停滞したと聞いていましたが、今回、私が目にしたのは、郊外に及ぶ建設ラッシュであり、賑わう市場といった活気のある街の様子でした。

こんなのは表層的な現象かもしれません。しかし、ブルキナファソの迅速な復活にはこの国の特徴ともいえる重要な理由があるように思うのです。

ブルキナファソの財政に占める国際NGOの援助額はGDPの0.5%に達すると言います。この数字を日本に置き換えれば国家予算の3%（3兆円）に達する規模です。たった2,000人くらいの経済活動がこれだけ占めるのです。こうした支援が集まるのは、ブルキナファソが平和だからです。変事が長引けばいくらNGOといえども撤退を余儀なくされ、そのうえ支援のみならず外貨獲得源を失って経済活動は停滞していきます。私の知人がこうした昨今のブルキナファソの情勢に対して「平和の報酬」と言いました。

近年、西アフリカ各所で地下資源が発見され、各国政府、企業がその開発に血道を上げています。それはそうと、ここ数年間のブルキナファソを眺めていて思うのは、「平和であること」はこうした地下資源にひけを取らない、大きな財産なのだということです。時代は移り移ろいますが、平和であること、これだけは変わってほしくないものです。



## ミツバチの森プロジェクト



全ての苗木への水やりは、大変な作業です。水やりの頻度も増えます。住民の負担を考慮し、車を使って運ぶことにしました。苗木への水やりは、週に2回、行なわれています。

ヤルカ村には、将来的にミツバチの蜜源となる予定の保護区が、1ha 設置されました。保護区内には、ローカル樹種 2,500 本が植えられました。乾季を迎え、水やり作業が本格化しています。

苗木への水やりには、バム湖の水を利用していますが、氾濫していた湖水が引いたため、水際が遠くなってしまいました。保護区は、街道を挟んで湖とは反対側にあるため、ロバで運んでも往復で2~3時間もかかるようになりました。これからいっそう暑くなるため、

養蜂活動も、順調に進んでいます。現在では、計12の養蜂箱が設置されています。住民グループによって定期的に巡回され、営巣や巣の形成状態がチェックされています。4回の蜂蜜採取が行なわれ、約13リットルが得られました。

## JICA 草の根技術協力事業

乾季を迎えて、大規模な作業が進められています。ディグット（石堤）の設置に際しては、石運びから栽培地に並べる作業まで、住民が総出で何日もかけて取り組みます。大変な作業ですが、3月までに3村で、約37haに設置されました。また、雨季の水流が強く、ディグットでは流されてしまう箇所には、より強固な蛇籠を設置しました。



また、養蜂活動も活発に行なわれました。蜂蜜の採取は定期的に行なわれており、最近では3月でした。2村で計36リットルの蜂蜜と蜂の巣付きが計36缶(缶容量50g)採れました。

強い水流にも崩れないように、金網に石を詰めた蛇籠を設置しました。

採取量は年々増加しており、村内だけでなく近隣村からも大勢の住民が購入に訪れるようになってきました。これまでは蜂の巣が付いた状態で売られることが多かったのですが、最近ではろ過した蜂蜜の販売量が増えています。養蜂箱から採られた蜂蜜として知名度が高まり、村にとっての産物になりつつあります。滋養強壯として用いられているので、地域全体の健康状態の改善につながればと期待しています。

## ブルキナファソから 2



### 湖岸植林プロジェクト



マンゴの苗木を植えている住民。植林は、村の住民が共同作業で行ないます。

バム県の中央にあるバム湖は、周辺地からの土砂の流入により、水深が浅くなってきています。このため、雨季になると毎年大規模な氾濫を起こし、周辺地が水没したり家屋が倒壊したりします。

こうした周辺地は穀物栽培に向いていませんが、植林には適しています。「緑のサヘル」は、湖岸に面した土地を有する5村で、植林を進めています。2012年は、ユーカリ 9,920本とマンゴ 380本を植栽しました。

ブルキナファソでは、自然林の伐採は禁止されていますが、植えた木であれば問題ありません。ユーカリは成育が旺盛でまっすぐ伸びるため、剪定した枝は薪に、幹は建築用材に使うことができます。これまでに植えた苗木は順調に成長しており、あと2年ほどで用材として販売できる植林地もあります。

## チャドから

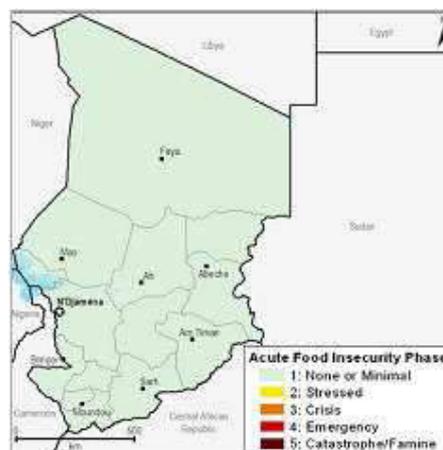


### 依然として不安定な食糧状況が続いています

2012年の穀物栽培は、順調な降雨のおかげで良好な結果に終わりました。農業省の調査によれば、380万トンの収穫量となり、凶作だった2011年の160万トンと比べると2倍以上になりました。

しかし、サヘル気候区に属するカネン州やバール・エル・ガザル州では、不足の状態です。また、これらの州には経済的に困窮している住民が多く居住しています。

現在のところ、穀物の販売価格は例年並みを維持していますが、価格が上昇する端境期は目前に迫っています。価格が高止まりを続けている南部では既に上昇を始めており、ソルガムの販売価格は、直近5年の平均と比べて8~37%高の価格になっています。危機は脱しましたが、楽観できない状況が続いています。



出典 FEWS NET  
危機的な地域はありません。

# 国内活動 1



年も改まり、当団体にも関連するセミナーや公演が催されました。藤枝市立広幡中学校では、1年半の間全校生徒が持ち寄った古紙 4 t をお金に換え、ご寄付して下さいました。また皆さまのおかげで、「緑のサヘル」は設立から 23 年目を迎えることができました。

## < 東京事務局での主な活動一覧 >

1月	17日(火)	毎日新聞 取材協力 (ブルキナファソ情報提供)	
	28日(月)	JAICAF 国際セミナー「変わるアフリカ、躍動する農漁村」	参加 (菅川)
		※主催：(公社)国際農林業協働協会 (JAICAF)	
	30日(水)	JAICAF 事業 調査企画委員会	出席 (菅川)
2月	25日(火)	JICA 機関誌「JICA's World」取材	担当 (菅川)
3月	7日(木)	静岡県藤枝市立 広幡中学校 寄付授与式	出席 (菅川)
	28日(木)	「緑のサヘル」設立記念日	
	29日(金)	「世界食料デー月間」月例ミーティング	出席 (岡本)
	30日(土)	東北子ども未来公演	出展
		「CARE WAVE AID-被災地の子ども達による【未来宣言3.11】-」	
		※主催：ジャパン・フォー・サステナビリティ	

## — JACAF 国際セミナー —

### 「変わるアフリカ、躍動する農漁村」

去る 1 月 28 日 (月)、東京都市ヶ谷にある JICA 地球ひろば国際会議場において、国際セミナー「変わるアフリカ、躍動する農漁村」が開催されました。主催は公益社団法人国際農林業協働協会 (JAICAF) で、「緑のサヘル」も後援団体の一つとなっています。



会場は多くの参加者で満席となりました。

このセミナーは、西アフリカの農漁村において、多様で健全な生活の発展に寄与するため、“今”求められているのは何かを考えるもので、農林水産省補助事業の一環として開催されました。

当日は、セネガルの NGO による基調講演、調査団によるセネガル、ブルキナファソの報告、ブルキナファソと日本をつなぐ企業の活動紹介、また報告者によるパネルディスカッションなど、盛りだくさんのプログラムが組み込まれました。

会場は大使館や国際機関、大学や民間企業、NGO/NPO など、各方面からの参加者約 140 名でほぼ満席となり、多くの質問や意見が寄せられる等、充実したセミナーとなりました。当団体からは、菅川がブルキナファソ調査団に参加しており、本セミナーにおいても現地報告とパネラーを務めました。

\* 詳細については「緑のサヘル」の HP をご覧下さい。

## 国内活動 2



### チャリティ・ミュージカル 開催

3月30日(土)、東京の世田谷パブリックシアターで、「東北子ども未来公演—CARE WAVE AID 被災地の子ども達による【未来宣言 3.11】—」が上演されました。

このイベントは、“大変な状況のなかでも勇気と優しさを失わずに頑張っている子どもたちの希望と夢を育む力を応援し、被災地以外の人々や世界の人々にもその元気と知恵を伝えていきたい”という想いのもと、被災地の子どもたちと「NPO 法人 CARE-WAVE」のプロキャストが中心となって行なわれました。



当日は多くのお客さんが、いらっしゃいました。

公演のチケット代金は、「寄付金」という形がとられ、東日本大震災の復興、また環境や開発の問題など広く社会課題に取り組むNPO/NGO等の8団体に寄付されることになっており、「緑のサヘル」もその1となっています。

また、当日は「緑のサヘル」もブースを開き、民芸品を販売すると共に、現地の状況や活動を知っていただくため、ニュースレターや資料の配布を行ないました。

## スタッフ紹介



### 新しいインターンが加わりました！

新しいインターンとして、山田真裕美さんが加わりました。山田さんは青年海外協力隊として、ブルキナファソに派遣予定です。「緑のサヘル」で多くのことを学び、持ち前の元気さを活かし、将来は青年海外協力隊として大活躍してくれることを期待しています。



はじめまして、4月からインターンとしてお世話になっている山田真裕美です。3月に鳥取大学農学部を卒業し、今年の年末に青年海外協力隊の稲作隊員としてブルキナファソに派遣される予定です。

日本にいる間に、ブルキナファソに一番近い「緑のサヘル」でインターンさせていただくことができ本当に嬉しく、これから楽しみです！ 派遣前訓練までの6ヶ月間、たくさんのことを学び、現地での活動につなげたいと思います。短い間ですがよろしくお願いします。



## チャリティ・コンサートin 大阪 5/26(日)

毎年恒例となっているチャリティ・コンサートが、今年も開催されます。今年は「日本が誇るソプラノとテノールの饗宴～日本のうたとオペラのアリア～」と題し、ソプラノ・澤畑恵美さん、テノール・福井敬さん、ピアノ・谷池重紬子さん、ナビゲーター・辰巳琢郎さんという、本当に豪華な顔ぶれになっています。

主催団体のひとつである「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会」は、これまでにバザーやコンサートの開催を通じて「緑のサヘル」への支援活動を続けて下さっています。

今年もコンサートの収益の一部が、「緑のサヘル」が現地での活動を行なうための大切な活動資金として寄付されることになっています。素敵なひと時を過ごしながらの国際協力、皆さん奮ってご参加下さい！



日時：2013年5月26日(日)

場所：大阪府池田市民文化会館アゼリアホール

料金：前売券 3,500円、当日券 4,000円(全席自由席)

主催：アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会  
(財)いけだ市民文化振興財団、中西クリニック

後援：池田市、池田市教育委員会、池田市公益活動促進協議会

協賛：株式会社 音羽

### 【 お問合せ 】

- ◇ 池田市民文化会館  
(TEL:072-761-8811)
- ◇ アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会  
(TEL:072-761-0508)
- ◇ 中西クリニック  
(TEL:072-762-7275)

## アフリカン・フェスタ 2013



「アフリカン・フェスタ」は、アフリカへの理解と親近感を高めることを目的に開かれる日本最大規模のイベントです。

来る5月11・12日、「アフリカン・フェスタ2013」が開催されます。

多くの国際団体やNGOが参加する予定で、各国の状況や取り組みが分かるだけでなく、音楽をはじめとする様々な文化に触れることができ、また美味しい料理も楽しめます。「緑のサヘル」もブースを開き、パネルの展示や民芸品の販売を行ないます。お近くの方はぜひお立ち寄り下さい！詳しくは、下記のサイトをご覧ください。

<http://africanfesta2013.com/>

# ありがとうございました

\* 敬称は略させて頂きました。

## 【 継続会員のみなさま 】

山田規矩子／碓井道子／福川佐代／大池良平／田中ちえ子／門村浩  
河村ミヨ子／鈴木寿一／江刺広和／齊藤政宏・せい子／瀬戸栄一／瀬戸進一  
瀬戸義子／船田クラセンさやか／柏原竜一／宮田春夫／永井邦子  
大阪信愛女学院小学校／大阪信愛女学院中・高等学校  
NPO 法人アークス仏教国際協力ネットワーク

## 【 ご寄付を頂きました 】

山田規矩子／碓井道子／賀川麻衣／小林伸張／手塚太郎／武藤彰子／村上和代  
田中ちえ子／小池昌子／高松千枝子／藤枝市立広幡中学校生徒会／佐藤幸子  
水島多衛子／高橋量平／加藤治郎／宮田春夫／内藤真子  
個別教育フォレスト 安多秀司／（特活）WE21 ジャパンとつか  
（公財）毎日新聞東京社会事業団

他 匿名をご希望の方 2名

## 【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

梅田暢子／佐々木順平／㈱コーセー経営企画部広報課 秦美奈子  
井上幸子／大久保久美子／瀬戸義子・友人

上記は 2013 年 2 月 1 日から 3 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2013 年 4 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

## 【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)  
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)  
緑の募金(管理団体:(社)国土緑化推進機構)／(財)国際緑化推進センター  
アクトシステム株式会社／(社)日本経済団体連合会／(公信)地球環境日本基金  
isave(シーブ㈱)／住宅エコポイント／アフリカ料理 神楽坂ドライブス  
(財)農村更生協会 ハヶ岳中央農業実践大学校／(特活)国際協力 NGO センター  
(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド  
国際連合食糧農業機関(FAO)／(公社)国際農林業協働協会／(株)グリムス



## 画像を提供しました

・(株)日本入試センター『小学 5 年生対象進学教室サピックス塾内教材授業用テキスト』



# 「緑のサヘル」からお知らせ

## インターン・ボランティア大募集!

「緑のサヘル」の東京事務局では、インターン・ボランティアを募集中! NGO を体験し、現地の問題や国際協力について学んでみませんか?

ニュースレター発送、イベント運営、カレンダーの販売など様々なお手伝いをさせていただきます。ご興味を持たれた方は、最下部に記載の緑のサヘル・東京事務局の連絡先までメールまたはお電話にてお問い合わせください!

詳細は、「緑のサヘル」ホームページ (URL: <http://sahelgreen.org/>) に記載しています。是非、ご覧ください。ご応募お待ちしております!!

## 書き損じハガキ・切手などを集めています!

皆さんの家に、書き損じハガキや年賀状、未使用切手、余っている商品券や図書券がありましたら、是非「緑のサヘル」までお送りください!



お送りいただきました書き損じハガキや年賀状、書中見舞いのハガキは新しいハガキや切手と交換し、商品券や図書券はお金に換えて、活動のために大事に使わせていただきます。

### 【 もくじ 】

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1..表紙          | 5..国内活動 2 |
| 2..ブルキナファソから 1 | スタッフ紹介    |
| 3..ブルキナファソから 2 | 6..事務局より  |
| チャドから          | 7..ありがとう  |
| 4..国内活動 1      | 8..お知らせ   |

< 編集部より >

●ベランダ菜園を始めました。ミニ大根やネギが発芽し、葉を開いています。これからの成長が楽しみです。(岡本) ●5月は大好きです。日本では若葉の頃、西アフリカでは猛暑が和らぎ、雨季の訪れを予感させる頃です。(菅川) ●このニュースレターが出来上がる頃には、飛行機の中?とっても暑いブルキナファソへ行って来ます!(田村) ●今年の神田祭は4年ぶり。地元神田紺屋町の神輿も神田明神へ繰り出す。そのお神輿は町会長の手作りでなんとダンボール製なんです。(本所)

ご贈答品・ご挨拶に  
どうぞ

### ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

### 【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 北陸 南東北	信越 中部 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

## La Forêt, C'est la Vie!

Vol.54

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 田村典子 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: [agsj\\_tokyo@sahelgreen.org](mailto:agsj_tokyo@sahelgreen.org)

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 N A Sビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041